# 公衆衛生学①

- ・公衆衛生とは
- ・公衆衛生の恩恵(生活と健康)
- ・生命倫理

# この講義で 看護の学生さんに学んで ほしいこと

- ①他者に共感できる幅広い知識
- ②社会に目を向けること
- ③自身の健康増進・管理

# 公衆衛生マインド

# 公衆衛生とは??

(public health)

# 定義づけ

1949年: World Health Organization (WHO)

1987年: 英国の報告書

- ①環境衛生の改善
- ②伝染病の予防
- 3衛生教育
- ④疾病の早期診断と予防的治療のための

医療および看護業務の組織化

⑤地域社会のすべての住民が健康を保持 するにたる生活水準を保障するような 社会機構の発展

☆目指すところは...

:疾病予防

: 生命の延長

:健康と人間的能率の増進



科学

技術

# 健康科学(health sciences)

医・歯・薬・看護・福祉学など 広義の健康にかかわる諸科学の総称

臨床医学: 対象は個人(患者)

公衆衛生学:対象は集団(社会・

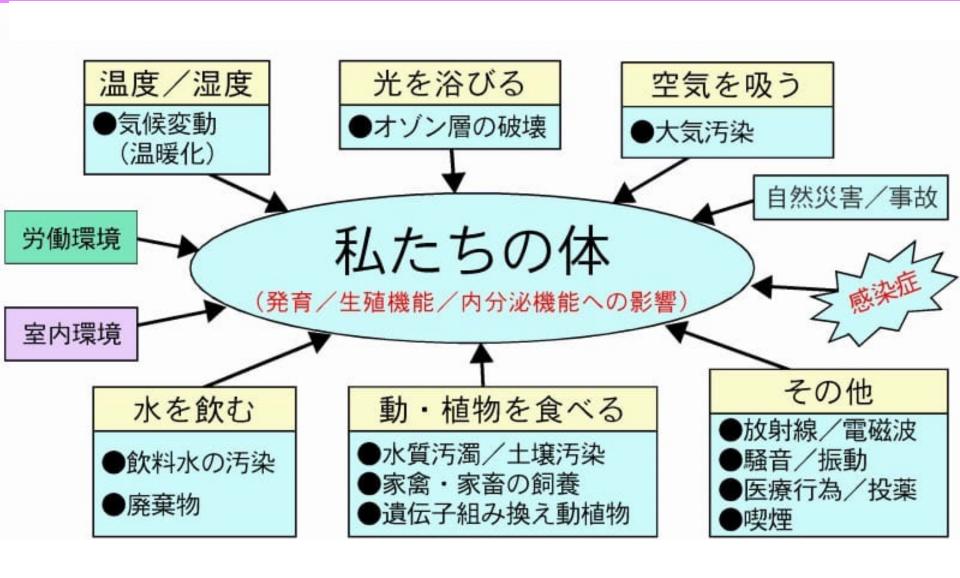
経済·行政的側面

から捉える)

# 講義の「ねらい」

- 1.<mark>公衆衛生活動の意義</mark>と社会・経済・行政 との関りについて理解する。
- 2.<u>さまざまな場面(地域・職域・学校・</u> <u>成人・老人・母子、精神保健など</u>)での 公衆衛生活動(健康増進、疾病予防など) の現状や課題について理解する。
- 3. 人を取り巻く環境が健康に及ぼす影響について理解し、地域行政レベルでの対応の概要について説明できる。

## 人間は生存するために環境に負荷を与え、 環境から様々な負荷を継続的に受けている



### 健康とは…

- :健康の概念… 客観的、科学的に捉えることは困難
  - ★ WHO (World Health Organization) 定義:

健康とは、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態 (well-being) にあること、



単に疾病がないとか虚弱でないと言うことではない

健康4つの目安:戸田正三(1885-1961.衛生学者) 「飯うまい、夜寝れる、疲れぬ、風邪引かぬ」

:疾患名などで分類するものではなく理想像を言い表したもの 理想像は時代や地域の医療レベルによって影響を受ける

e.g.

早期がん発見を可能にした最先端の検査機器

※この検査機器が存在しない時代や地域ではがんが 発見されない

### 人類史における健康問題、対処技術、対処方法の歴史的変遷

| 社会の発展段階                     | 健康問題                       | 対処技術                                    | 対処方法                                |
|-----------------------------|----------------------------|---|-------------------------------------|
| 狩猟採集·漁労<br>社会(~1万年前)        | 周産期の胎児<br>と新生児死亡           | シャーマニズム                                 | 儀式や祈祷                               |
| 農耕牧畜社会<br>(1万年前~<br>1800年頃) | 腸炎, 寄生虫症,<br>肺炎            | 宗教、民族医療                                 | 僧侶,牧師,<br>寺院                        |
| 工業社会<br>(1800年頃~<br>1970年頃) | 栄養失調, 性病,<br>結核, 職業病       | 環境浄化,<br>臨床医学                           | 社会制度化<br>社会保障                       |
| 脱工業社会<br>(1970年以降)          | 慢性疾患,<br>新興•再興感染症,<br>精神障害 | 多因子病因論,<br>生態学的技法 <sup>※</sup> ,<br>QOL | チーム医療,<br>総合地域保健,<br>生態系と地球<br>環境保全 |

### ※生態学(ecology)

:生物と環境の間の相互作用を扱う学問。

: 生物は環境に影響を与え、環境は生物に影響を与える。

## 公衆衛生の歴史

:エジプト文明(BC3000年頃) ミイラをつくる防腐と殺菌の技術を持つ

: Hippocrates (ギリシャ, BC470年頃)

- ① 原始的な医学から迷信や呪術を切り離し、医学を 経験科学へと発展
- ② 環境(自然環境、政治的環境)が人間の健康に 及ぼす影響についても先駆的な著作をのこしている「空気・水・場所」

:Ramazzjni.B(イタリア,1700頃 産業医学の祖)

### 公衆衛生の諸段階

第1期(19c) : 公衆衛生法、

救貧法(E.Chadwick, J.Simon)

※伝染病の大流行を阻止

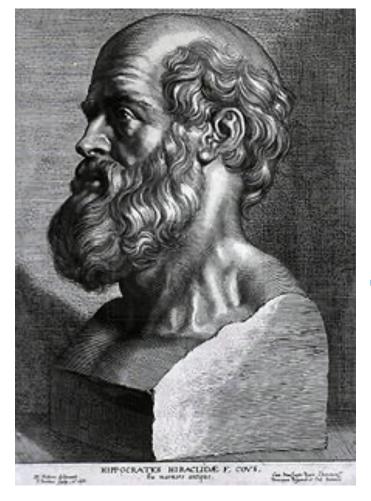
第2期(19c末): 細菌学(コレラ菌の発見: Koch)

※特異的予防方法:予防接種

第3期(20c始): 抗生物質、向精神薬、

病院医療(公衆衛生やや停滞)

第4期(1970代~):ライフスタイル改善、保健・ 医療・福祉制度(公衆衛生の 要請が高まる)



#### 「医学の父」、「医学の祖」、「医聖」

「ヒポクラテスの誓い」を唱えた 医師の倫理・任務について

※今日まで

医療倫理に大きな影響!

### 体液病理説:

「人間の身体を構成する体液の調和が崩れることで病気になる」 18世紀に病理解剖学が生まれるまでは臨床医学の主流の 考え方であり、その後も病態生理学の土台となった。



Florence Nightingale (1820-1910)

5月12日: 「看護の日」 ナイチンゲールの誕生日

臨床実習の前に戴帽式 (厳かな儀式) ナイチンゲール誓詞

イギリスの看護婦

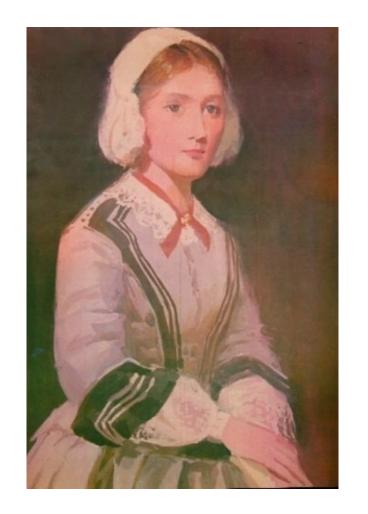
社会起業家、統計学者、看護教育学者

近代看護教育の生みの親

病院建築でも非凡な才能を発揮



犬の手当て? 幼い頃のナイチンゲール



クリミアの天使

- クリミア戦争での負傷兵への献身
- ・統計に基づく医療衛生改革で著名

## 日本の公衆衛生

明治以前:中国漢方

養生訓:健康を保つための食事、睡眠、性生活のあり方

貝原益軒

(1630-1714.儒学者.日本史上最高の生物学者)



明治以降:ドイツ医学(臨床医学)とイギリス流の公衆衛生活動戦前:

コレラ(年に数千人死亡) ⇒ 伝染病予防法(1897)

「らい予防法」1931年ハンセン病患者に対する強制的な

隔離政策(患者の人権侵害 ⇒ 1996年に廃止)

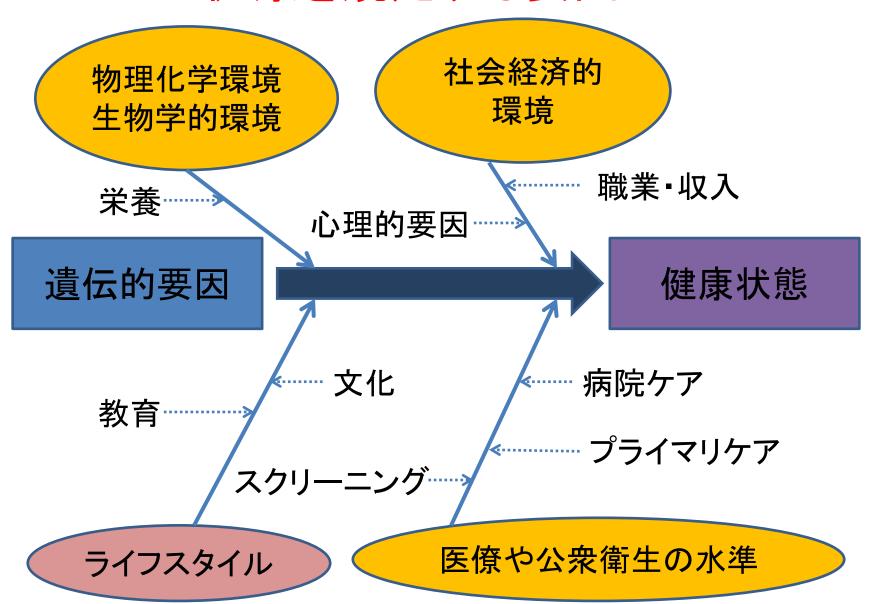
工場法(1916)、健康保険法(1922)

戦後:公害対策基本法(1967), 消費者保護法(1968)

労働安全衛生法(1972)、老人保健法(1982)

環境基本法(1993), 健康增進法(2002)

### 健康を規定する要因



### 疾病の原因に寄与する4つの要素とその割合

| 現在の健康システム   | 10% |
|-------------|-----|
| 生活習慣ないし行動様式 | 50% |
| 環境要因        | 20% |
| 遺伝学的要因      | 20% |

ラロンドレポートより USA Healthy People (1979)

#### ラロンドレポート:

1974年にM.Lalomde(Canada)によりカナダ人の健康についての新たなる展望(A new perspectives on the health of Canadians) と題され報告

# 人々の健康・生活と公衆衛生学

戦後の経済発展

# 公衆衛生の恩恵

### 日本は地道な公衆衛生活動により

① 世界でトップクラスの長寿国

女性1位:87.1歳、男性2位:81.1歳(WHO.2018)

※世界的に見ても、20世紀に獲得された平均寿命

30年分の25年は公衆衛生の進歩によると

言われる。(Blanc et. Al.,1996)

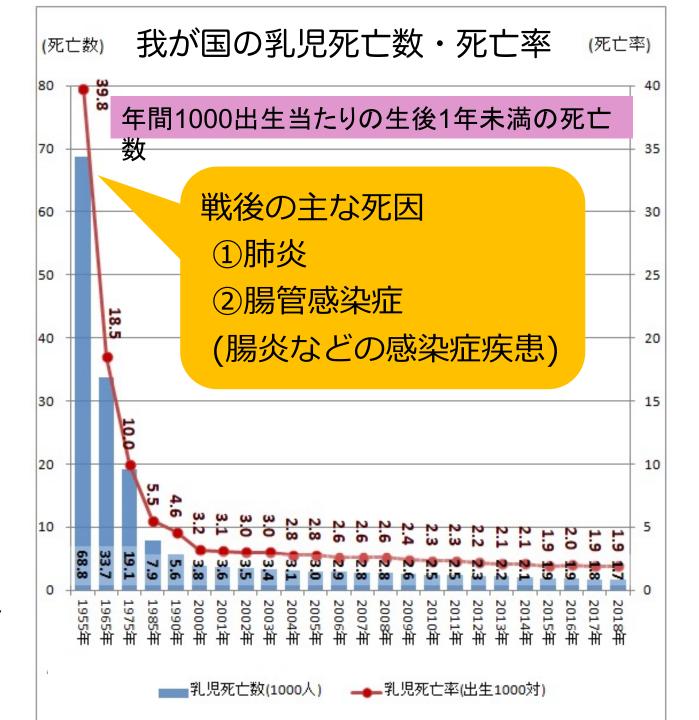
- ② 乳児死亡率、妊産婦死亡率など大幅に低下
- ③ 上下水道など環境改善の結果

感染症の多くは克服されつつある。

1955年 1人/25人



2018年 1人/500人



# 生後4週間(28日)未満の新生児死亡数

TSURUKAWADAI WOMEN'S CLINIC

パキスタン

日本

45.6人

新生児死亡率

0.9人

1人/22人 Pakistan 1人/1000人 Japan

# 妊娠及び出産が原因で死亡する妊産婦数

世界最下位183位:1,360人(1人/74人)

シエラレオネ共和国

TSURUKAWADAI WOMEN'S CLINIC

平均寿命

181位:53.1歳

世界平均

日本

216人



100,000人

1人/463人

1人/20,000人

Vorld Zapan



国民総出で排水路清掃!

家庭ごみやプラスチックごみ を取り除く作業 シエラレオネで初の

「クリーニングデー」

2018年5月6日

ジュリウス・マーダ・ビオ大統領が **衛生環境の改善**を目指した 政策の一環として新たに導入!!

> https://www.afpbb.com/articles/ -/3173569?pid=20092070

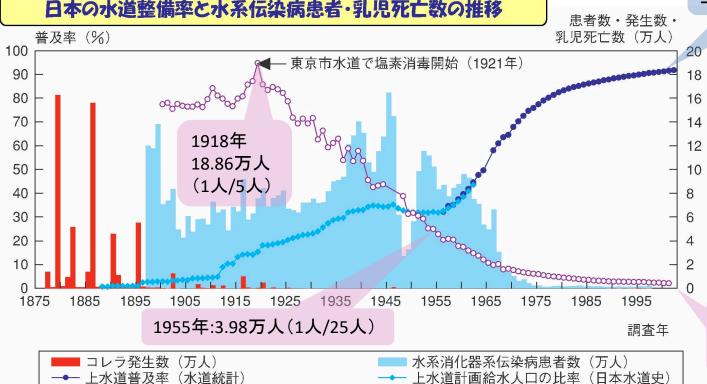


### 水道が果たしてきた役割 (水道の普及と安全衛生の向上)



### 公衆衛生の向上





- 国土交通省水資源部作成
- 2. 水道普及率は「日本水道史」、 「水道統計」(厚生労働省)に よる
- 3. コレラ発生数は「日本水道史」、 「伝染病統計」(厚生労働省) による
- 4. 乳児死亡率は「人口動態統計」(厚生労働省)による
- 5. 水系消化器系伝染病患者数 はコレラ、赤痢、腸チフス、パ ラチフスの患者数で「伝染病 統計」(厚生労働省)による (1807年以降)

2017年 1990人 1人/500人

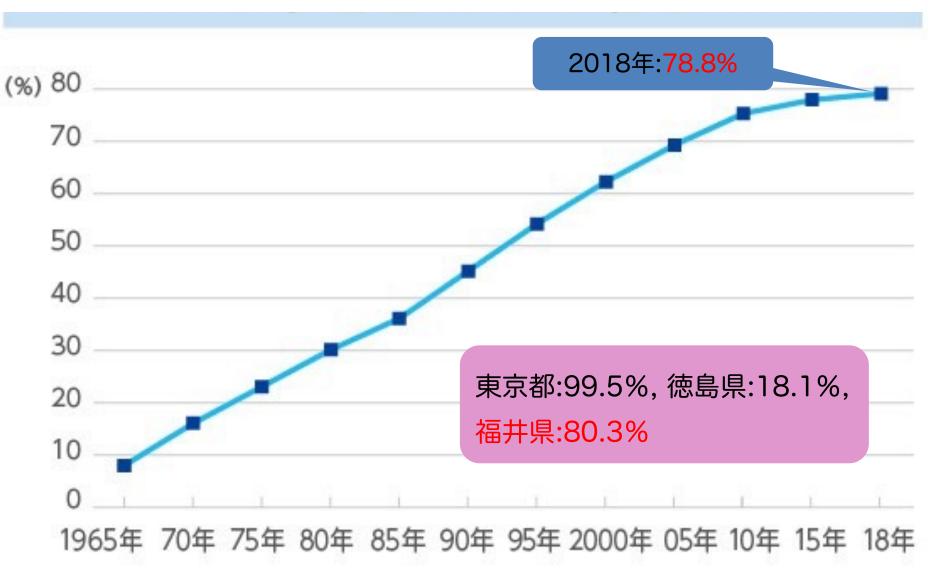
出典: 平成16年版 日本の水資源

- □ 水道の整備が進み、塩素消毒が導入されたのに伴い、乳幼児死亡率やコレラ、赤痢、腸 チフス、パラチフスなどの水系消化器系伝染病患者数は急激に減少。
- □ 公衆衛生の向上に対する水道の果たす役割は非常に大きい。

一一 乳児100万人当たりの死亡数(万人)

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000027cq9-att/2r98520000027cwa.pdf

# 我が国の下水道普及率の推移



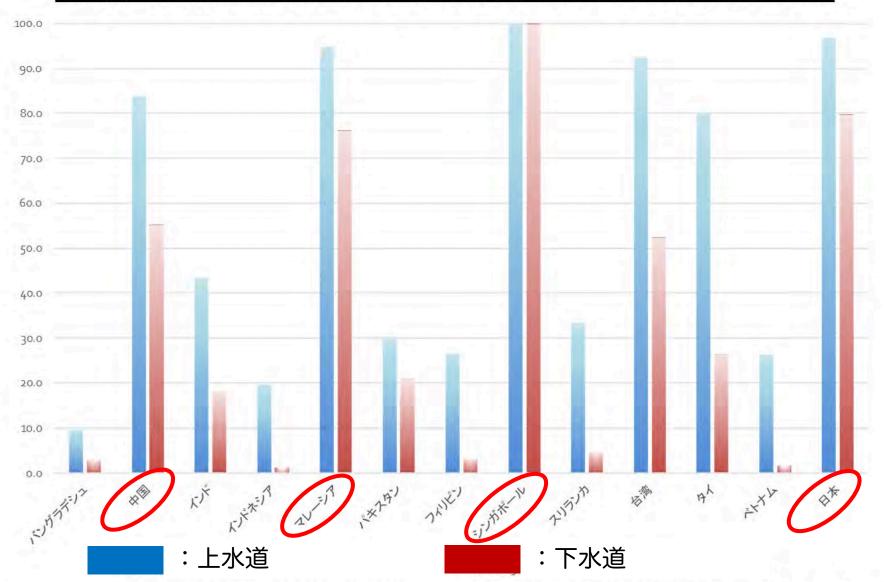
国土交通省のデータより作成

https://agri.mynavi.jp/2019\_05\_17\_70357/



### アジアにおける水道整備の現状

### 上水道供給・下水道処理人口普及率の比較(%):アジア



出典: Global Water Market 2017 (Global Water Intelligence)





#### 福岡市

水道整備の支援をきっかけに

ヤンゴン市と交流

2016年: 姉妹都市締結

https://stayway.jp/tourism/myanmar-2



ミャンマーの 全世帯のうち、 日本のように 住居まで配管が 引かれている世帯 4%

https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/site/kidspage/jougesuidou.html





日本の 一般家庭 広く普及 1935年~ 1960年



# 手押し 井戸ポンプ

https://www.asahigs.co.jp/well-maintenance/disaster-pump.htm

## ミャンマーのスラムのトイレの構造



:お尻を水で洗うためのバケツ

:トイレットペーパーを使わずに、手でお尻を水で洗う

www.abroaders.jp/article/detail/1692

2017.11.7

### トイレの下を覗くと…

どうやら 用を足したものは、 すべて下に流れるという、 とてもシンプルな 仕組みらしい。



スラムでは 下水道が整備されて いない





トイレも水の上にあり、すべて下に流れる仕組みになっている。

トイレの上に住んでいるようなものなのか…





https://jaa2100.org/entry/detail/059033.html



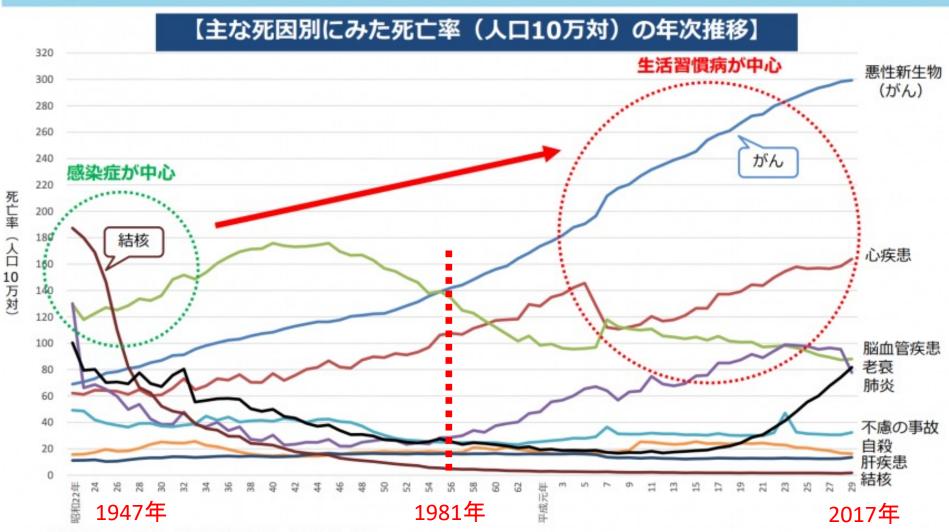
近未来のトイレ



https://jp.toto.com/campaign/neorest nx/index.htm

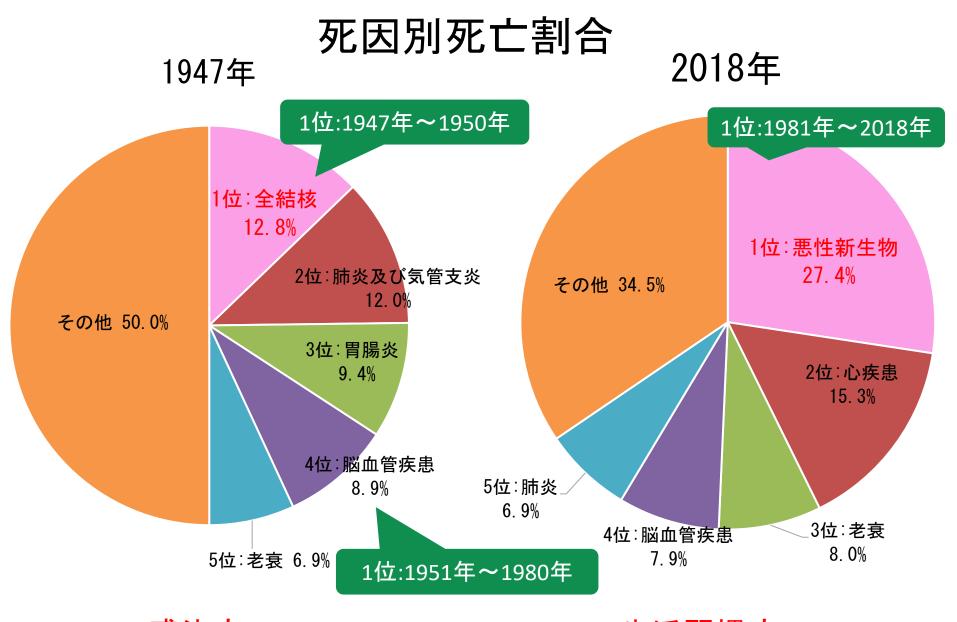
# 我が国の疾病構造は、かつての<mark>感染症</mark>から<mark>生活習慣病</mark>や

### 老化に伴う疾患中心へと転換



※平成6年までの「心疾患(高血圧症を除く)」は、「心疾患」である。

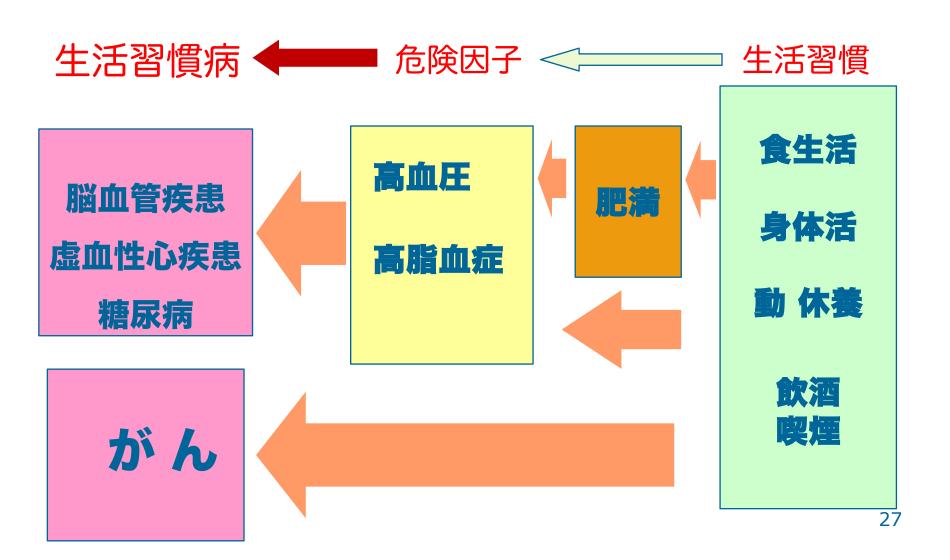
(出所) 厚生労働省「平成29年(2017)人口動態統計月報年計(概数)」より作成。



戦後は感染症で亡くなる人が34.2%(1人/3人)

現在は生活習慣病で亡くなる人が50.6%(1人2人)

# 生活習慣病と危険因子





#### 全国生活習慣病予防月間テーマ

#### 一無

#### 二少

#### 無煙·禁煙

―喫煙は万病の元―



喫煙:死因1位(128,900人)

#### 少食

一食事は腹七~八分目一



肥満:死因11位(19,000人)

三多

#### 少酒

一お酒はほどほどに-



飲酒:死因6位(32,700人)

#### 多動

一身体を活発に動かす―



#### 多休

一休養をしっかりとる―



身体活動不足:死因3位(52,200人)

#### 多接

―活動的な生活―



一般社団法人日本生活習慣病予防協会

https://www.w-life.jp/column/18824

### 公衆衛生活動の分類

- 1. 疾病予防・健康增進活動
  - : <mark>感染症、生活習慣病</mark>、う蝕(虫歯)など個別の疾病予防
  - :母子、成人、老人、学校、職場などに固有の病気の予防
- :自殺予防、事故防止と災害時対策
- :家族計画
- 2. 環境保健活動
  - : 環境の監視・測定(サーベイランス)・モニタリングと アセスメントの実施
  - :<mark>上下水道の整備</mark>
  - :廃棄物処理(一般•産業•医療廃棄物)
- 3. 栄養改善運動
  - :食事摂取基準の決定、食事や栄養の指導

#### 4. 食品衛生

- : <u>食中毒の防止</u>、残留農薬やBSE(牛海綿状脳症)対策、 適正表示
- :食品添加物の使用許可、違反の摘発、食品衛生の管理
- 5. 保健・医療・福祉制度の管理運営
  - : 統計資料の作成と報告
  - :(国)厚生労働省 都道府県 市区町村の役割
  - :保健所一市区町村保健センター、精神保健センター、福祉事務所、社会福祉協議会など
  - : 医療施設の配置、医療従事者の教育・免許・ 登録制度の整備
  - : 医療保険、医療扶助、公費負担医療など
- :介護保険、福祉サービス(在宅介護サービス、ショートスティ、ディサービスなど)

# 医の倫理

#### **ジュネーブ宣言(1948)**

第2回世界医師会総会:医の倫理に関する規定 ヒポクラテスの誓いの倫理的精神を現代化・公式化した もの

(1968年、1984年、1994年、2005年、2006年改定)

#### 主な内容

- :全生涯を人道のために捧げる
- : <mark>人道的立場にのっとり、医を実践する</mark>。 (道徳的・良識的配慮)
- : 人命を最大限に尊重する。(人命の尊重)
- : 患者の健康を第一に考慮する。
- : 患者に対して差別・偏見をしない。(患者の非差別)

#### ヘルシンキ宣言(1964)

:ナチス・ドイツの人体実験<sup>1)</sup>の反省よりニュルンベルク綱領<sup>2)</sup>を 受けて、世界医師会第18回総会(ヘルシンキ)で採択

#### 1)人体実験

- ①低温実験(1941年)低体温症予防と治療の目的の凍結実験
- :被験者はタンク1杯分の氷水で最大5時間、耐えることを 強いられた。
- ②マラリア実験(1942年~1945年)マラリア治療の免疫調査
- :健康な収容者がメスの蚊の粘液腺からの抽出物を注射され、 マラリアに感染させられた。
- :マラリア感染後、被験者には薬剤の相対的な効力をテスト するため、様々な薬物が投与された。

#### 2)ニュルンベルク綱領

研究目的の医療行為(<mark>臨床試験及び臨床研究</mark>)を行うにあたって厳守すべき10項目の基本原則

- :医学研究者が自らを規制する為に採択された人体実験 (新薬の薬効試験、新技術の応用など)に対する倫理規範。
- ※正式名称:「ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則」 ヒトゲノム計画に関して改定(エディンバラ.2000年)
- :日本では、全ての大学医学部、医科大学、および主要な研究機関に<mark>倫理審査委員会</mark>(Institutional Review Board)が自主的に設置

# 生命倫理

生命(bio)に関する倫理(ethics) ⇒ 「bioethics」

:一般的には生命科学や医療をめぐる倫理的問題

の議論に「bioethics」が用いられる

遺伝子診断(着床前診断)、人工妊娠中絶、

代理母出産、脳死、臓器移植、安楽死•尊厳死、

インフォームド・コンセント、終末期医療、

延命治療、看護倫理、ヒトクローン研究

### インフォームド・コンセント(informed consent)

「正しい情報を得た(伝えられた)上での合意」を意味する概念

医療行為(投薬・手術・検査など) や治験などの<mark>対象者</mark>(患者や 被験者)が、治療や臨床試験・ 治験の内容についてよく説明を 受け十分理解(informed)



対象者が自らの自由意思 に基づいて医療従事者と 方針において<u>合意する</u> (consent)

※単なる「同意」だけでなく、説明を受けた上で治療を拒否することもインフォームド・コンセントに含まれる。

#### 説明の内容

対象となる行為の名称・内容・期待されている結果。

副作用や成功率、費用、予後までも含んだ正確な情報。

※患者・被験者側も納得するまで質問し、説明を求める。

# パターナリズム (paternalism)

日本語では

「家父長主義」、「父権主義」、「温情主義」

:強い立場にある者が、弱い立場にある者の利益になるようにと、本人の意志に反して行動に介入・干渉すること。

### 専門家と素人

専門知識において圧倒的な格差がある専門家と素人のあいだでは、パターナリスティックな介入・干渉が起こりやすい。

#### たとえば...

医師(専門家)から見れば、患者(素人)は医療に関して無知蒙昧であり、自分で正しい判断を下すことが出来ない。その結果、医療行為に際しては、患者が医師より優位な立場には立てない。そうした状況で患者の自己決定権をどのように確保していくか...



# インフォームド・コンセント

## 現在では…

「患者の利益か、患者の自己決定の

自由か」をめぐる問題として議論され、

医療現場では

インフォームド・コンセントを重視する

環境が整っている。

### 看護倫理

医師の行うインフォームドコンセントの補完ではない 看護職に求められる役割

患者の代弁者 ⇒ nursing advocacy

医者と家族の間に立って、医療情報の仲介や口頭説明 e.g.がんの告知、望まない妊娠、ターミナルケア デリケートな立場で、自らの位置がどこにあるのかに ついての熟慮を求められる(職業倫理的な色彩が強い) 本質

患者の最も近くにいて、患者から多くの情報を得られる 立場にある看護の専門性

患者中心の医療 ⇒ 医療の主人公(尊重:患者の願い や思いを引き出し医療に反映) 49